



## ここが正念場！好循環の兆しを確かな流れに！

主催者挨拶



▲連合三重 番条会長

### 2024春季生活闘争三重県総決起集会 みんなで賃上げ。ステージを変えよう！

2024春季生活闘争取り組み説明



△中小労働委員会 松山委員長

3.8国際女性デーアピール



▲ジェンダー平等推進委員会 辻委員

集会アピール



▲青年委員会 田中委員長



2月23日(金・祝)、メッセウイング・みえにて、『2024春季生活闘争三重県総決起集会』を開催し、構成組織から約1,000人の仲間が結集しました。主催者を代表して番条会長は、「昨年の春闘では、30年ぶりの高水準となる賃上げを獲得したが、物価の高騰により実質賃金はマイナスとなっている。それぞれの労組で粘り強い交渉を行い、賃金も物価も経済も安定的に上昇する社会へ転換させよう。」と挨拶しました。

続いて、中小労働委員会の松山委員長が2024春季生活闘争における連合三重の取り組み内容を説明し、その後の決意表明では、民間労組代表で基幹労連の晒木雅也さん、官公労代表で三教組の梶野貴美子さん、有期・短時間・契約労働者代表でJP労組の橋本順子さんが今春季生活闘争にかける思いを述べました。また、青年委員会委員長の田中健太郎さんによる集会アピールと、ジェンダー平等推進委員会委員の辻真理菜さんによる3.8国際女性デーアピールを、全員の拍手をもって採択し意思統一を図りました。

最後は、番条会長の発声で春季生活闘争勝利に向けて全員のガンバロー三唱で締めくくりました。



▲基幹労連 晒木 雅也さん



▲三教組 梶野 貴美子さん



▲JP労組 橋本 順子さん

決意表明

## 【賃金も物価も経済も安定的に上昇する社会へ -2024春季生活闘争における要請行動-】

連合三重は、中小・地場企業で働く労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」の実現に向け経営者・経済団体・行政への要請行動を行いました。



▲三重県(2月6日)



▲三重労働局(2月7日)



▲三重県経営者協会(2月15日)



▲三重県商工会議所連合会(2月16日)



▲三重県中小企業団体中央会(2月16日)



▲三重県商工会連合会(2月19日)





# 『2024春季生活闘争』

～みんなで賃上げ。ステージを変えよう!～

連合三重では、春季生活闘争に対する機運を醸成するため、記者会見やラジオCMの放送などメディアを通じての広報活動に取り組みました。また、各地域協議会と連携し、三重県下で街宣行動を行いました。

## 記者会見

1月29日、今季春季生活闘争に関する連合三重の取り組みを説明するため、専従役員4名が記者会見を開きました。



▲2024春闘記者会見

## ラジオ出演

2月～3月の期間中、FM三重にて『2024春季生活闘争～仲間作りは連合へ～』をテーマにラジオCMを放送しました。また、2月7日には、FM三重の番組『ゲツモク!』内の“MIEレポート(17:41～17:46)”に番条会長が生出演し、『春季生活闘争』について迫田藍子リポーターと対談しました。



▲連合三重事務所からラジオ生出演

## 労働相談ホットライン

2月6日～7日にかけて、『全国一斉集中ホットライン』を実施し、雇用不安や労働条件にお悩みの方々からのご相談にお答えしました。



▲労働相談ホットラインの実施

## 街宣行動

地域協議会の皆さんにご協力いただきながら、各地で街宣行動(音源流し街宣含む)を行いました。



▲松阪駅前 でチラシとグッズを配布 (松阪地協)



▲亀山駅前での街宣行動 (亀山地協)



▲街宣行動で配布したチラシとバースポンジ



### 月別賃金の引き上げ目安

賃金カーブ維持分→4,500円  
賃上げ水準目標→10,500円以上

総額15,000円以上



最新の妥結状況は  
連合本部HPをチェック!

## 三重県知事との 政策懇談会を行う

2月6日、三重県庁において連合三重三役と三重県知事との政策懇談会を行いました。主な内容は、『産業振興の活性化』、『子育て支援』、『社会インフラ』で、各担当部局より説明を受けた後、一見知事と三役との意見交換を行いました。



▲三重県知事との意見交換

## 第71回 三重労使会議を開催

2月15日、プラザ洞津において第71回三重労使会議を開催しました。初めに、連合三重から三重県経営者協会に対し『2024春季生活闘争に関する要請書』の手交を行いました。続いて、『「パートナーシップ構築宣言」への参画拡大と実効性確保に向けた共同宣言』へ労使双方が署名を行いました。

その後の労使セミナーでは、株式会社百五総合研究所 代表取締役社長の海住 禎人氏を招き『2024年度三重県経済の展望』の演題で、日本経済の動向や三重県内の展望などについてご講演をいただきました。



▲要請書を手交



▲共同宣言へ労使で署名

## 若者が労働組合について知る機会の拡充を -三重大学寄附講義-

10月4日から1月31日にかけて、2023年度後期「三重大学寄附講義」を開講しました。寄附講義は三重大学のご協力により「働くということと労働組合」をテーマに全15回開講し、産別の役員の方をはじめ、三重県、三重労働局、三重県経営者協会、三重県労働委員会、公益社団法人教育文化協会、福祉事業団体からご登壇をいただき「連合と労働組合の役割」「労働法の重要性」「社会保障制度」「健康で安全に働き続けられる職場環境」「ジェンダー平等や多様性」などについてお話をいただきました。2013年より始まった三重大学寄附講義も今回で10年目という節目を迎えました。連合三重では引き続き、労働組合の意義や活動について知っていただける機会の充実をめざして取り組みを進めていきます。



▲講義を行う三重県労協協の木村専務理事



回数	日程	講義のテーマ	講師(敬称略)
第1回	10月4日(水)	三重大学の皆さんに学んでほしいこと	藤本 真理(三重大学人文学部 准教授)
第2回	10月11日(水)	「働くこと」について考える	永井 浩(公益社団法人教育文化協会 専務理事)
第3回	10月18日(水)	三重で働きたいを応援～三重の企業を元気にしよう～ より良い労使関係をめざして	中村 和仁(三重県経営者協会 事務局長) 森 元就(三重県労働委員会 課長補佐兼班長)
第4回	10月25日(水)	知っておきたい社会保障制度について	藤本 真理(三重大学人文学部 准教授)
第5回	11月8日(水)	三重県における雇用対策について	坂井 哲(三重県雇用経済部雇用対策課 課長)
第6回	11月15日(水)	三重から世界へ ものづくり産業の取り組みについて	中尾 将一郎(自動車総連 本田技研労働組合鈴鹿支部 書記次長)
第7回	11月22日(水)	健康で安全に働き続けられる職場環境づくりをめざして① ～サービスの職場から～	加藤 義明(私鉄総連 三重交通労働組合 執行委員長)
第8回	11月29日(水)	ジェンダー平等や多様性を認め合う社会をめざして ～教員の職場から～	山田 章世(三重県教職員組合 書記次長)
第9回	12月6日(水)	健康で安全に働き続けられる職場環境づくりをめざして② ～ものづくりの職場から～	松山 陽一(ゴム連合三重県協議会 議長)
第10回	12月13日(水)	労働環境の改善をめざして ～公務員の職場から～	宮脇 拓也(全日本自治団体労働組合三重県本部 副中央執行委員長)
第11回	12月20日(水)	春季生活闘争における賃上げや労働条件の改善に向けて	佐橋 洋一(JAM東海三重県連合会 事務局長)
第12回	1月10日(水)	これまでの振り返り	藤本 真理(三重大学人文学部 准教授)
第13回	1月17日(水)	労働者のための助け合い活動について	木村 敬明(一般社団法人三重県労働者福祉協議会 専務理事) 岩月 孝哲(こくみん共済COOP三重推進本部 職域推進係)
第14回	1月24日(水)	知っておきたいワークルール	金尾 文敬(三重労働局 局長)
第15回	1月31日(水)	まとめ	藤本 真理(三重大学人文学部 准教授)



### 若者へのワークルール啓発冊子が 新しくなりました!

雇用主がワークルールを守ることが大前提ですが、自分や仲間を守るため、労働者側がワークルールの知識を身に付けておくことも大切です。新入社員教育や研修の場でもぜひご活用ください。



こちらからデジタルブックを  
ご覧いただけます。

## 女性の権利と平等を考える ～3.8国際女性デー～

3月8日は国際女性デーです。今年の3.8国際女性デー全国統一行動のテーマは、「つなげよう 取り組みを 高めよう 意識を」で、連合三重では、各地域協議会の協力のもと、3月8日を中心に駅前街宣や音源流しによる街宣で、アピール行動を行いました。

また、連合本部では「3.8国際女性デー 全国統一行動 中央集会」が開催され、連合三重からもジェンダー平等推進委員の皆さんにWebからご参加いただきました。



▲津駅前での街宣行動(津地協)



▲トナリエ四日市前での街宣行動(三泗地協)

## 3.8国際女性デー



3.8国際女性デーは、1857年にニューヨークで起きた工場火災で、多くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に低賃金・長時間労働に抗議する集会が開かれたことが起源です。

その後、国連においてこの日は、「女性の権利と平等のために闘う記念日」と位置付けられ、生活向上を表す「パン」と、尊厳を示す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されています。ちなみに、女性デーのシンボルとしてミモザを挙げる説もありますが、これはイタリアでは男性から女性へ感謝を伝えるために、3月8日にミモザを渡す習慣があるからだそうです。

